

# 横山幸次

区政報告  
ニュース

**No. 624**

2016年8月28日  
発行 日本共産党区議団  
TEL3802-4627  
fax3806-9246  
Eメール arajcp@tcn-cat  
v.ne.jp  
★町屋相談室  
荒川区町屋5-3-5  
TEL3895-0504  
Eメール yoko1951@aol.jp

横山幸次区議のホームページ・ブログ・ツイッターを  
ご覧下さい。横山幸次で検索して下さい。

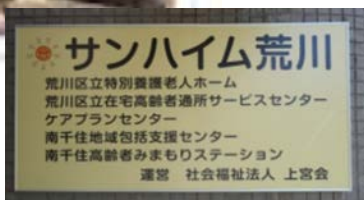
## 特養ホーム・サンハイム荒川… 事業者が交替？でどうなる！

**指定  
管理**



☆上は、特養ホームサンハイム荒川（南千住）。

看板には、5つの事業が掲載。これらの事業は、どうなるのか



### 設置者である区の責任を明確にし 利用者の安心の確保と雇用の確保を

特養ホームサンハイムは、5月の事業者公募にあたって最終的に現在の指定管理者・上宮会が申込みをしないまま時間が経過。カメラヤ会（湖山）が単独応募となり、審査の結果、必要な評価が受けられて内定。正式には、区議会9月会議に提案され、10月13日の本会議で決定。カメラヤ会は、昨年4月にも墨田区の特養ホームの公募に応募し審査の結果、「なりひらホーム」の指定管理者となっています。

この間、サンハイム荒川は、特養ホーム56床、ショートステイ12床、地域包括支援センター2カ所、ケアプランセンターなど多くの介護や高齢者福祉にかかわる事業を担ってきました。しかし、この数年間は、特養ホームの施設長が再三入れ替わる状況があったり、詳しくは分からないものの応募事務が完了しないなど、法人側の問題点があったので

### カメラヤ会とは…。指定管理制度は？!

社会福祉法人カメラヤ会（江東区亀戸）は、2006年12月設立。江東区亀戸の他、神奈川県平塚市、墨田区業平の3カ所で特養ホームを運営、来年度から藤沢市辻堂元町とサンハイム荒川、再来年度に渋谷区でも開設予定。今年度、受託したなりひらホームの施設長は「なりひらホームの指定管理を行っていく中で嬉しかったのは、職員の9割が残ってくれたこと。…中略…その職員と共に、新しいなりひらホームを作り」とあいさつがホームページに掲載。こうした施設は、そこで働く人が全てです。この間の継続性が本当に大事です。

また指定管理制度の危うさも見ていく必要があります。今回、上宮会が応募しなかったことは、区も想定外だったようです。区の福祉施設は全て指定管理者が運営。しかし最終責任は、荒川区にあります。現在運営している指定管理者が継続して応募しないことも当然考えられます。今後、指定管理制度のあり方など検証することが必要ではないでしょうか。

者が不安を持つことなく継続、安定的にサービスが受けられるようにしなければなりません。南千住2カ所の地域包括支援センターの今後も心配。そのためにも、事業の継続性確保のため、経験を持つ介護職員のみなさんの協力を求め、希望者全員の雇用継続が大切です。新事業者はもとより、設置者である区の責任ある対応が強く求められます。

裏面 町屋地域のまちづくりの課題、議会報告など

**定例法律相談会**  
**9月5日(月)**  
**午後6時～8時**  
**横山区議事務所**

弁護士と横山区議が相談をお受けします。秘密は厳守します。お急ぎの場合は、北千住法律事務所の相談日などご紹介します。  
生活相談は、随時受付しています。  
TEL&FAX 3895-0504  
不在時は、留守電へ、後で連絡します。  
区役所控室 3802-4627

### 白昼、旭電化通りで火災発生にびっくり… あらためて見えてきた地域の防災まちづくりの課題

暑い日が続く8月21日、私の事務所斜め向かいの家屋から出火。周辺は瞬く間に煙に包まれ、一時は息も出来ないほどでした。火災に遭われた方や周辺のみなさんにあらためてお見舞い申し上げます。同時に、いくつか考えることもありました。火災があった場所は、旭電化通りに面しており、消防車など救急車両が一気に火災現場に集結できました。そのため、周辺への延焼は何とか免れました。もちろん、昼の時間帯で、前日のような風がなかったことも幸いしたのでしょうか。

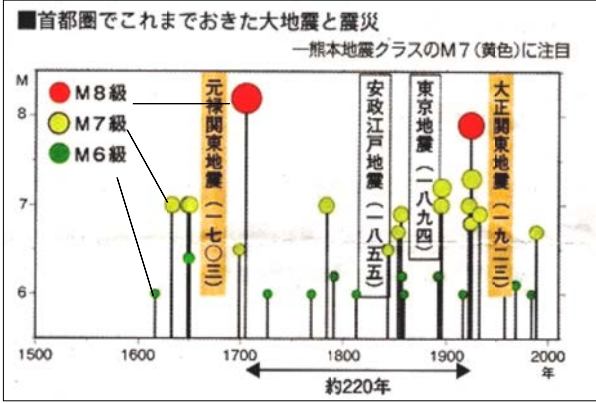
同時に、もしこの火災が、現場の後背地である町屋4丁目の木造密集地域内部でしかも消防車両も入れない場所で発生した場合どうなっていたのかと考えるとゾッとします。様々な条件が重なる大規模な火災になる可能性があるのです。また、大地震発生時には、同時多発の火災も想定されます。いま、オリピックに向けた公共事業が都政の中で議論されています。しかし住民のいのちを守る自治体がかかわるべきは、オリンピックにかかわらず、こうした木造密集地域の解消のためにこそ、金も知恵も集中するべきです。

横山幸次

旭電化通りには、同時多発の火災も想定されます。いま、オリピックに向けた公共事業が都政の中で議論されています。しかし住民のいのちを守る自治体がかかわるべきは、オリンピックにかかわらず、こうした木造密集地域の解消のためにこそ、金も知恵も集中するべきです。



# 地域のまちづくりの課題を検証すると…



共事業を止め、こうしたことにこそ公共事業を当てるべきです。

町屋地域では、引き続き木造密集地域の整備が大きな課題です。というより、区政最大の緊急課題。首都直下地震もいつ起こってもおかしくありません（左図参照）。道路拡幅も課題です。四峡小裏の道路（左写真）は、学校用地の一部を使って拡幅しました。しかし、一番急がれる豊島通り（左上写真）は、部分的に広がっていますが、なかなか先が見えません。最大の問題は、やはり、住宅含め生活再建です。いま、町屋5丁目都営住宅の建て替え中ですが、その一部でも従前居住者用に振り向けられれば大きく事業は進むはず。ムダな公共事業を止め、こうしたことにこそ公共事業を当てるべきです。

## 木造密集地域の改善 公的住宅などでの対応を

8月15日に地下鉄銀座線青山一丁目駅で起こった視覚障害者の方のホーム転落事故死は、あらためて多くのことを投げかけています。以前から駅のホームは、「欄干のない橋」ともいわれ、視覚障害者だけでなく危険性が指摘され続けてきました。国の資料でもホーム転落事故は毎年増え続けています。全盲の場合、3人に2人は転落経験があるといえます。声掛けも必要です。しかし何といつてもホーム柵の設置です。



☆上が事故のあった駅 下が町屋駅ホーム…何となく似ている？



## 地下鉄駅ホーム転落事故が突きつけたもの 移動の自由確保は権利・ホーム柵設置を…

千代田線では、2カ所しかホーム柵がありません。JRもまだ一部です。「エキナカ」など収益増には熱心ですが、安全対策が後回しでは、公共交通機関の責任が問われます。まず投資すべきは安全です。障害者をはじめ誰もが自由に移動出来ることは「権利」だという認識が必要です。

町屋地域の特徴の一つに、更地になった場所がマンションでなく建売住宅建設になっていることです。しかもその多くが目一杯の密度での建設です。耐震や耐火は強化されても密集市街地が再生されています。大地震

## ミニ「乱開発」を防ぐために 計画的な公有地確保も必要

町屋2丁目の旧防災広場の隣地を区が確保して現在防災機能も持った公園（右写真）になっています。区も大規模駅前再開発などでなくこうしたところを最優先に整備すべきです。



☆町屋5丁目の都営住宅は、建て替え中。一部を密集市街地整備向けに振り向けるべき



☆周辺は木造密集地域。小さな公園ですがそれでも安心感が生まれます。

## 荒川区議会 9月会議 主な議案と日程…

| 区長提案議案                        | 概要  |
|-------------------------------|---|
| 2015年度一般会計決算                  | 当初予算、歳入・歳出973億3,511万円が、決算では歳入952億3,412万円、歳出905億924万円。   |
| 第 回補正予算について                   | マイナンバーに関する交付金5,245万円、2カ所の認可保育園開設支援1億8,855万円、基金積み立て50億7,500万円、国保・介護保険会計からの繰入金各5億6,907万円、5億2,287万円。   |
| 行政委員等及び非常勤の監査委員等の報酬、費用弁償の規定整備 | 一月間、疾病等によって職務につけない場合の報酬不支給の規定整備。  |
| 各施設の指定管理者の更新について              | ・汐入、峡田、東日暮里各ふれあい館は、現在の事業者で5年間継続。・西日暮里ふれあい館は現事業者で3年間継続。・南千住7丁目保育園は、5年間継続。・日暮里自転車駐車場は、現事業者で1年間継続。・グリーンハイム、花の木ハイムは、現事業者が5年間継続。・荒川福作、生活実習所は、現事業者が5年間継続。 |
| サンハイム特養・通所の事業者選定              | (福)カメラア会【理事長・湖山泰成】に内定。これまでの上宮会から変更になります。  |
| 区議会議員等の選挙の公費負担に関する条例改定        | 法律改定に伴い、自動車借入500円、燃料代金210円、運動用ピラ21銭、ポスター14円58銭、企画費8,625円の引き上げ。  |

荒川区議会 9月会議が9月7日～10月13日にかけて開催されます。終了直後に区長選挙（10月30日告示、11月6日投票）も予定され、暮らしを守る区政の役割があらためて問われます。

区財政は、荒川2丁目複合施設建設など大型事業があったものの剰余金が50億円近く発生。基金・積み立ても280億円と最高時に近づいています。さらに効率的な財政運営を行い、区民生活最優先の区政運営が求められています。

高すぎる保険料、軽度者はずしの介護保険制度など区民の暮らしが大変なだけに、住み続けられる医療・介護・住宅が切実です。自立できない若者、学生に借金を負わせる教育制度の改善。学校・保育園がすし詰めの中で駅前拠点開発の見直しなど課題山積です。みなさんのご意見もお寄せ下さい。

### 9月会議日程表

|          |                                |                 |
|----------|--------------------------------|-----------------|
| 9月7日(水)  | 9時30分～ 全員協議会                   | 10時～ 本会議        |
| 8日(木)    | 10時～ 本会議                       |                 |
| 13日(火)   | 10時～ 総務企画、福祉区民委員会              |                 |
| 14日(木)   | 10時～ 子育て文教、建設環境委員会             |                 |
| 21日(水)   | 23日(金)26日(月)27日(火)29日(木)30日(金) | 10時～15時 決算特別委員会 |
| 10月3日(月) | 6日(木)                          | 10時～15時 決算特別委員会 |
| 13日(木)   | 10時～ 本会議                       |                 |